



## 新規採用の職員を募集します。

受付期間：令和6年5月30日（木）～6月20日（木）

詳細は、別添の「令和6年度職員採用試験案内」のとおりです。

◎建設技術センターの紹介（所在地：鹿児島市宇宿2丁目）

### 1 建設技術センターとは

県や市町村の公共工事の実施を支援している公益財団法人です。

具体的には、工事費の積算業務や工事の施工管理などを行っています。

・県内各地の様々な工事に関わることができます。

・基本的に、鹿児島市宇宿での勤務となります。



### 2 勤務時間

8時30分から17時15分まで（12時から13時 休憩）

※ 時差出勤制度もあります。

例えば、早出の場合 7時30分から16時15分まで

### 3 給与

鹿児島県庁の職員に準じています。（令和6年3月1日現在）

○初任給 大卒 196,700円

短大卒 179,600円

○手当

賞与（期末手当・勤勉手当） 約4.5月分（令和5年度実績）

通勤手当，住居手当，超過勤務手当，扶養手当 など

### 4 休暇制度

(1) 完全週休2日制（土日祝，年末年始）

(2) 年次有給休暇 20日（初年度は15日） ※時間単位の取得もできます。

(3) 特別休暇 夏季休暇（5日），結婚休暇，看護休暇 など

### 5 福利厚生等

定期健康診断，職員駐車場 など

### 6 資格取得助成制度

技術士，土木施工管理技士，コンクリート技士などの資格取得に係る受験料，受験に要する交通費・宿泊料，登録費用などを助成します。

## 7 先輩職員の紹介

### Mさん（平成27年度採用）

土木を選んだ理由は、規模が大きく、やっていることが面白そうだなと感じたからです。

これまで、県や市町村工事の積算と施工管理、ドローンを使用した災害調査業務などを担当しました。積算は道路、河川、急傾斜など様々な公共工事、施工管理は橋梁やトンネルなども含めた道路工事を主に経験しました。

施工管理の仕事は、現場の進捗確認や、工事業者に対して指示をしたり、現場で困っていることがあれば話を聞き、発注者へ相談をしたり、また提出された書類のチェック等もあり、充実しています。

担当した現場で、道路が供用開始になり、車が通っているところを見た時は、やってよかったなとやりがいを感じます。

一番印象に残っているのは、離島で発生した土砂災害発生現場のドローンを使った災害調査で、規模が大きい現場の災害発生直後の初動対応に一役買えたのではないかと思います。

ワークライフバランスですが、平日は家に帰って家事や料理、犬の世話をしています。ランニングをすることもあります。休日は、所属している野球・ソフトボールのチーム練習に参加したり、妻と一緒に出かけたりしています。

土木の魅力は、目に見えて出来上がっていくところ、形に残り、使われ続けていくところだと感じています。

県内のインフラ整備において、建設技術センターはとても大事な役割を果たしていると思いますので、是非一緒にやりましょう！



### Dさん（令和4年度採用）

土木に進んだ理由は、元々モノ作りや細かい作業が好きで、地元で大規模な橋が建設中であったこと、兄が高専にいたことがきっかけだったと思います。

私は公務員志望で、高専の先輩が就職していた建設技術センターの話が研究室の先生からも聞いており、志望しました。

これまで、広報事業では、土木デザインフォトコンテストを担当し、写真の募集から審査会の開催、受賞者への表彰式出席確認の連絡や表彰式の段取りまでしました。受賞者や審査員の方々の日程調整などが少し大変でした。

研修事業では、研修の準備や、研修後に研修受講者の学習履歴申請などを担当しました。

今年度、初めて施工管理の現場を担当することになりました。二級施工管理技士の資格取得に向けて勉強中です。施工管理の現場を担当することで、資格取得にも一歩近づけていると思います。

休日は、友達と遊んだり、サッカー観戦に行ったりしています。建設技術センターの同世代の女性職員とはランチをしたり、仕事の帰りに食事をしたりしています。

建設技術センターは、幅広く色々な仕事が出来て、先輩方も優しく教えていただけるので、働きやすい職場だと思います。

構造物が出来上がっていく過程も見ることができるので、是非来ていただけたらと思います。

